

校区が一つに ～福岡マラソン応援事業～

糸島市 糸島市教育委員会 桜野公民館【公立公民館】 館長 竹浦 三喜雄
主事 武氏 順子

1. 事業名

福岡マラソン応援事業

2. 事業目的

校区全体で福岡マラソンのランナーの応援

3. 事業の実施主体

校区運営組織の「桜野校区振興協議会」と桜野小学校PTA

4. 連携・協力機関・団体等

桜野校区社会福祉協議会や青少年育成指導員会、校区子ども会連合会、シニアクラブ、地域ボランティア、小学校の児童、及びPTA。

公民館の役割としては、応援活動する全団体の調整や、ボランティアの集約、応援活動の場所提供など全体的なとりまとめ。

5. 事業予算

福岡マラソン糸島協力会より応援事業費として、23万円の助成金で事業を実施。
(平成28年度)

6. 実施に至る経緯

福岡マラソンは平成26年から毎年開催されており、福岡市天神をスタートし、自然豊かな糸島市をゴールとするマラソンコースが設定されています。桜野校区の一部もマラソンコースとして設定され、当日は桜野校区の主要道路が交通規制されます。

マラソンで一日何も出来ないなら、ランナーの応援や外部からの応援者を「おもてなし」と言う機運が高まり、個人個人で応援するより組織だって応援しようということになりました。運営には地域役員だけでなく小学校PTAや児童、先生方にも声をかけて賛同していただき、応援事業を実施する運びとなりました。

7. 事業内容

ランナーや応援者の目を楽しませたいとの意向によりコース沿道に横断幕の設置や顔出し看板の設置、プランターに花を植えて並べました。昨年度は300個、今年は

400個のプランターを沿道に配置しました。また、外部からの応援者の記念になるように、校区に隣接する九州大学の美術部に依頼して顔出し看板を製作し、設置しています。

九大美術部製作の顔出し看板



顔出し看板の設置



ボランティアが育てたプランター



コース沿道のプランター



P T Aが製作した案山子



児童とP T Aで作った応援横幕



高齢者もイスに腰掛けて応援



自宅前での応援



横 15m、縦 1.5mの巨大な応援横幕



子ども達もハイタッチで応援



8. 事業の成果

児童から高齢者まで地域住民が一体となった応援活動により、地域のまとまりが出来たようです。また、ボランティア団体の意識が向上し、応援事業をするにあたり地域の活性化に効果がありました。

9. 今後の課題

福岡マラソンは11月に開催されており、本事業は9月から11月までの短期間の事業となっているため、年間を通じた事業展開が課題となっています。どのような応援事業を設定するか、公民館や運営組織、ボランティア団体、PTAなどの関連団体と協議を重ねることが重要となります。

また、それに伴い、校区団体の年間計画や予算関係の見直しが今後の課題となっています。

問い合わせ先 糸島市立桜野公民館 〒819-1304 糸島市志摩桜井5942番地
電話・FAX 092-327-0259
mail: sakurano.k@city.itoshima.lg.jp